

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (6月3日～6月28日分)

日本テレコムと JR 東日本、無線 LAN 接続実験期間を延長

東日本旅客鉄道 (JR 東日本) と日本テレコムは、2001 年 9 月より首都圏の各駅において実施している「無線による、駅でのインターネット接続実験」について 2002 年 7 月末にて終了予定であった実験期間を延長すると発表した。

「無線による、駅でのインターネット接続実験」の実験エリアは東京、新宿、渋谷、上野、品川、横浜、成田空港、空港第 2 ビルの各駅構内、および札幌駅周辺の各実験エリア。2002 年 6 月 21 日より仙台地区にもエリアを拡大している。

接続可能プロバイダはこれまで、ODN、JENS SpinNet、Panasonic hi-ho、@nifty、OCN、DTI、reSET.JP が対応済み。また、BIGLOBE の会員も、2002 年 7 月 1 日より利用が可能となる。

なお、実験終了時期については、具体的に明示はされず、別途案内するとし、モニター募集も、実験期間終了まで受け付けるとしている。

(6/28)

「Yahoo! BB モバイル」、無料試験サービス期間を延長

ソフトバンク・グループ 3 社 (ビー・ビー・テクノロジー、ヤフー、ソフトバンク・コム) は、2002 年 5 月 20 日から 6 月末日までとしていたモバイル・ブロードバンドコミュニケーション事業「Yahoo! BB モバイル」の無料試験サービスの提供期間を延長すると発表した。

「Yahoo! BB モバイル」は、2.4GHz 帯の周波数を活用した無線 LAN 規格 IEEE802.11b に準拠。下り最大 8Mbps の無線による高速インターネット接続を提供する。

全国のマクドナルド 9 店舗、スターバックス コーヒー 29 店舗、ミスタードーナツ 22 店

舗にてサービスを提供している (2002 年 6 月 28 日現在)。

なお、実験後の展開については、実証実験の結果を十分に検証した上で、改めて告知する予定としている。

また、スターバックス コーヒー 29 店舗としての Yahoo! BB モバイル実験導入は、2002 年 11 月 30 日までの期間限定となっている。
(6/28)

MIS、MIS システムのライセンス販売を発表

モバイルインターネットサービス (略称: MIS) は、高速な認証システムと強固なセキュリティ機能、スムーズなハンドオーバー機能からなる、MIS システムのライセンス販売を開始すると発表した。

販売体制として、ルート、スプライトと協力し、MIS システムと、ルートが開発した無線基地局、ならびにスプライトが開発した顧客管理データベースを組み合わせ、有線・無線を問わず、『セキュア IP ソリューション』として、ルートより、企業や自治体、大学等教育機関向けに販売する。

ライセンス販売の背景として、企業、大学等教育機関などで急速な勢いで LAN (有線・無線) を利用したネットワーク構築が拡大しており、特に無線 LAN は利便性から普及が拡大している一方、プライバシー・セキュリティの脆弱性が指摘されているためとしている。

(6/27)

ソフトバンク・グループ、12Mbps の ADSL 接続サービスを発表

ソフトバンク・グループ (ビー・ビー・テクノロジー、ヤフー) は、ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」において、2002 年 7 月 1 日より距離や通信干渉などによる速度減衰に強い、下り最大 12Mbps の ADSL 接続サービス「Yahoo! BB 12M」の試験サービスを開始すると発表した。

「Yahoo! BB 12M」サービスは、新型のコ

ンポモデム (Yahoo! BB と BB フォンの一体型) である「Yahoo! BB コンポモデム 12M」を利用する。「Yahoo! BB コンポモデム 12M」はユーザーの加入電話の回線状況に合わせて、「Annex. A.ex」、「Annex. A」、「Annex. C」の 3 種の ADSL 規格からユーザーの通信環境に最適な ADSL 規格に自動的に切り替わる。

これにより、これまで距離や通信干渉などによる速度減衰で ADSL の利用が極めて困難とされていた地域でのサービスの提供が可能となり、Yahoo! BB の提供エリアは格段に広がるとしている。

また、「Yahoo! BB 12M」は、2002 年 3 月中旬より愛知県大口町 (おおくうちょう) で既に実証試験を継続的に実施しており、その結果、実験対象の全 200 ユーザーが接続可能となったほか、平均値で下り約 1Mbps の通信速度の向上が見られたという。

試験サービスは、2002 年 7 月 1 日から地域限定で新規に申し込みをした先着 3,000 名を当初のモニター対象とする。申し込みの受付は Yahoo! JAPAN のウェブサイトにて開始する。

商用サービスは、試験サービスの検証結果に基づき、2002 年 8 月 1 日から受付を開始する予定。商用サービス時の提供価格は、ADSL サービス料が 1,190 円/月、モデムレンタル費用が 890 円/月 (ISP サービス料は現行と同じ [1,290 円/月]) となり、現行の下り最大 8Mbps の ADSL 接続サービス『Yahoo! BB 8M』の ADSL サービス料とモデムレンタル費用各々 200 円をプラスした価格となる。

(6/27)

米 Real、RealOne Player 用の SONY Music Device Plug-in 発表

米 RealNetworks® は、RealOne™ Player 用に、Net MD Walkman、Network Walkman、VAIO などのソニー製品へ楽曲ファイルの転送が可能になる「SONY Music Device Plug-in」を発表した。

今回の Plug-in は、2002 年春に締結された両社のデジタルコンテンツ配信ソフトウェア技術供与に関する複数年契約に基づき提供さ

れる。

Plug-in は 2002 年 7 月 8 日より RealOne Central サイトにてダウンロード可能となる予定。同時にソニーは RealNetworks の各サイトで Net MD 製品の大規模なプロモーションを行う。

Sony Music Device Plug-in によって、RealOne Player 上の MP3 や RealAudio ファイルは自動的に ATRAC3 にトランスコードされ、Net MD Walkman、Network Walkman などに転送できるようになる。

(6/26)

pressplay、ソニーの Net MD に対応

pressplay は、同社が配信している楽曲をソニーの Net MD ウォークマンに転送できるようにすると発表した。

pressplay は Sony Music Entertainment と Universal Music Group の合併事業。2 社に加えて、EMI Recorded Music、Madacy、Matador、Navarre、OWIE、Razor & Tie、Roadrunner、Rounder、Sanctuary といったレーベルが楽曲を提供している。

実際のサービスは提携パートナーである MP3.com、MSN、Roxio、Yahoo を介して提供されている。

現時点では米国内に限定して、Windows Media Technologies を利用した音楽配信を行っている。ストリーミング、ダウンロードに加え、Roxio の CD-R 書き込み技術により、料金プランによって回数制限ながら CD-R への書き込みも可能となっているのが特徴。

今回の Net MD への対応は、2002 年夏の終わりから順次行われる予定としている。

(6/25)

FNJ など、「インターネットマンションサービス協議会」を設立

エヌ・ティ・ティ エムイー、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、キンデン、ケイ・オブティコム、KDDI、西華産業、つな

ぐネットコミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン、有線ブロードネットワークスの 9 社と(財)ベターリビングは、「インターネットマンションサービス協議会(略称:IMSC)」を設立すると発表した。

IMSC は、新築分譲マンションでインターネットマンションであることが当然のことになりつつあり、2002 年 3 月には、国土交通省によりインターネットマンションの基本的な考え方として、「インターネットアクセスの円滑化に向けた新築共同住宅情報化標準」が策定されたことを受けて設立された。

マンション向けインターネット接続サービスに従事する法人および関連する諸団体の参加により、関係者の情報交換と共に、相互交流を通じて諸問題の解決を図り、マンション向けインターネット接続サービスの健全な育成・振興に寄与することを目的としている。

活動内容としては、マンション向けインターネット接続サービスの品質向上を始め、インターネットマンション居住者に正確な情報を伝えるためのサービス基準の作成、広告表現のルール化、既設マンションのネット化への助成金制度や優遇税制等に関する監督官庁等への提言等を予定している。

設立時は 9 社 1 団体であるものの、今後はマンション向けインターネット接続サービスに従事している他の法人や関連諸団体に広く参加を募り、協議会の更なる発展を図る予定としている。

(6/25)

NTT 東日本、無線を利用した集合住宅向け FTTH サービスを発表

NTT 東日本は、B フレッツ「マンションタイプ」に加入者光ファイバと 26GHz 帯無線周波数を用いた FWA システムを組み合わせた「FWA タイプ」を追加提供することとし、総務大臣に契約約款の認可申請及び料金の届出を行ったことを発表した。

「B フレッツ」は、2001 年 8 月 1 日からサービス提供開始された、加入者光ファイバを利用し、NTT 東日本の地域 IP 網を介して、ユーザーが契約する ISP 等に接続するベストエフォート型のネットワークサービス。

今回、追加される「FWA タイプ」は、ユーザーのビル・マンション等の近傍にある電柱等までの加入者光ファイバと、26GHz 帯無線周波数を用いた FWA システムを利用し、最大 23Mbps の帯域を、ビル・マンション等内のユーザーで共同利用するサービス。

利用料金は月額 8700 円。初期費用として契約料 800 円と工事費 20,000 円が必要となる。

2002 年 9 月 2 日より申込を受け付ける予定。

(6/24)

NTT ドコモ、ホットスポット商用サービスを発表

NTT ドコモは、2002 年 7 月 1 日(月)より公衆無線 LAN サービス「Mzone」(エムゾーン)を提供することについて、総務大臣に契約約款の届出を行ったことを発表した。

NTT ドコモは公衆無線 LAN サービスについて、2002 年 4 月よりモニターサービスを提供しており、技術面での検証及びユーザーの利用状況に関する情報収集を進めてきた。本格サービスとして提供可能なサービスレベルが確認できたことから、モニターサービス期間終了後、速やかにサービスを開始するもの。

このサービスは 2.4GHz の無線周波数帯を利用した IEEE802.11b に準拠したシステムを採用、通信速度は最大 11Mbps、ユーザー ID・パスワードによる認証によるユーザー認証を行う。

利用料金は月額 2,000 円の定額制。初期費用として契約事務手数料 1,000 円が必要(Web サイトからの申し込みについては無料)。

提供ホットスポットはサービス開始時点で赤坂プリンスホテル、カフェ・ド・クリエ新宿 5 丁目店、帝国ホテル、東京国際フォーラム、ホテルオークラ、幕張メッセの他、ドコモ関連施設としてモバイルマルチメディアラボ新宿、モバイルマルチメディアラボ丸の内、国際赤坂ビルが準備されている。

さらに新東京ビル、羽田空港、サンシャイ

ンシティプリンスホテル、新横浜プリンスホテル、パナソニックセンター、幕張プリンスホテル、丸ビルが予定されている。

(6/21)

Philips、直径3cmで1GBの小型光ディスクを開発

Royal Philips Electronics社は、直径が3cmで片面単層の記録容量が1GBの小型光ディスクを開発したと発表した。

光源に青紫色レーザーを使っており、ドライブの厚さを7.5mmまで薄くすることに成功している。試作ドライブの外寸寸法は56mm×34mm×7.5mm。

この試作ドライブでは、まだ基板が分かれているものの、直径3cmのディスクに保存したMP3データを読み出し、再生することにも成功している。

Philipsでは、デジタルカメラ、携帯電話、PDA、ポータブルインターネットデバイスなど分野に対応できるとしている。

(6/20)

三菱電機、Full Speed USB機能内蔵16ビットマイコン発表

三菱電機は、USB機能内蔵マイコンの新製品として、Full Speed USB機能内蔵16ビットマイコン「M30245グループ」を開発完了し、2002年7月よりサンプル出荷を開始すると発表した。

「M30245グループ」は、M16Cコアの内蔵とUSB応用を想定した周辺機能の強化により、従来はマイコン+USB専用IC+機能部品で構成していた機能をワンチップに集積。また、100ピンLQFPパッケージの採用と併せて、高性能で小形・薄形の製品を実現している。

USB仕様2.0 Full Speedに準拠し、あらゆるFull Speed USB応用製品に対応可能。最大9エンドポイント使用でき、また各エンドポイントに対して転送方式、バッファサイズを任意に設定できるため、多様なデータ処理が可能となっている。

C言語効率、処理速度、消費電力、ノイズ性能の面で定評のあるM16Cコアを従来のUSBマイコンより高速の16MHzで動作させるとともに、大容量128キロバイトのフラッシュメモリを内蔵。USB処理のみでなく、通信データの演算処理などのメイン処理もワンチップで実現可能。また、ICレコーダー等で大量データを処理したい場合には、外部バス接続も可能。

また、最長32ビットデータを転送できる多機能シリアルI/Oを、オーディオインターフェースとして2チャンネル内蔵。これにより、オーディオICと直接接続することもできる。

三菱電機では、これらの機能により携帯オーディオ、ネット配信など進化するオーディオ分野にワンチップで対応できるとしている。

(6/19)

イー・アクセス、12Mbpsメニュー「ADSLプラス」を発表

イー・アクセスは、「G.992.1 Annex C」規格による、下り最大速度12Mbpsを実現するサービス「ADSLプラス」の導入を発表した。

この「ADSLプラス」では新しい<4つのプラス>機能が提供される。

<Speedプラス>：米センテリウム社の新DSLチップを実装したNEC社製及び住友電工社製ハードウェアを導入、ノイズに強いエラー訂正機能と「G.992.1」の高速化オプションを実装することで、下り最大通信速度12Mbpsを実現する。

<Reachプラス>：トレーニング（通信開始のきっかけ）時に使用する周波数帯域を広げ、制御信号を多重化する新技術を導入。ノイズ耐性が向上することにより、従来NTT収容局からの線路長約4~5kmが限界伝送距離を、6~7kmに延長する。

<Securityプラス>：「SecureDSL」コンセプトに基づき、今後需要が予想されるセキュリティ機能がワンチップに組み込まれた米センテリウム社の端末用新DSLチップを採用。

<Linkプラス>：線路長にかかわらず、現行の8Mサービスと比較して、100~500kbps程度の速度向上。

このサービスは10月より、現在のサービス提供地域及び2002年6月下旬より拡大を予定している90局を合わせた563電話局で開始、その後全国規模で展開する。

申込み受付はBIGLOBEをはじめ、2002年8月初旬より順次@nifty、ASAHIネット、DTI、Panasonic hi-ho、ODN、東京電話インターネット、コジマネットなどのISPにて開始していく予定。

(6/19)

bitmusic、WMT方式での配信を終了

ソニー・ミュージックエンタテインメント（SME）の運営する音楽配信サイト「bitmusic」は、Windows Media Technologies方式での配信を2002年6月30日21時をもって終了すると発表した。

Windows Media Technologies方式での配信は1999年12月のサービス開始当初より提供されていた方式。

既にダウンロードのみ済ませた未購入（ミュージックキーを取得していない）の楽曲は、2002年6月30日21:00までに支払い手続きを済ませ、ミュージックキーを取得しないと再生できないままで、それ以降、Windows Media Technologies方式の楽曲はミュージックキーを取得できなくなる。

これにより、2002年7月1日以降、bitmusicではMadison Playerでの配信のみとなる。

また、2002年8月からは新方式（新プレーヤー）での配信を開始し、bitmusicのダウンロード販売についてはその新方式に統合していく予定としている。

なおbitmusicでは、2002年7月1日から配信曲すべてを1曲200円で提供する「夏休みはNet MDでとことんリゾート」というキャンペーンを実施する。

(6/18)

NTT ソルマーレ、KIOSK 端末ビジネスを発表

NTT 西日本がブロードバンドネットワーク上でコンテンツ流通事業を行うことを目的に 2002 年 4 月に設立した NTT ソルマーレは、光ネットワークと接続した街頭端末を利用した街角コンテンツ流通サービス「Foobio (フービオ)」を 2002 年 6 月 19 日 (水) から開始すると発表した。

「Foobio」は、NTT ソルマーレが駅や CD 販売店等に設置する光ネットワークと接続した街頭端末を利用して、屋外で PDA (携帯情報端末) や携帯オーディオ等のモバイル機器を利用するユーザー向けに、映像や音楽等の大容量コンテンツのダウンロード販売を行うサービス。

「Foobio」のサービスメニューは 3 つ。

PDA 等のモバイル機器で視聴する映像や音楽、マンガ、雑誌等のデジタルコンテンツを、Foobio 端末からメモリーカードや MD にダウンロードして購入できる「コンテンツダウンロードサービス」

ユーザーがデジタルカメラで撮影したデジタルフォトを Foobio 端末で印刷したり、「Foobio」のセンターにアップロードし Foobio 端末やパソコンで閲覧を可能にする「フォトプリント&ロッカーサービス」

Foobio 端末の CCD メラでユーザーの映像 (静止画や動画) を撮影し、その映像を携帯電話やパソコンにインターネットを通じて発信できる「ビクターコミュニケーションサービス」

料金はコンテンツダウンロードサービスが無料のものから数千円まで、その他のサービスは数十円から数百円となっている。

提供エリアは当初、大阪市の阪急梅田駅を中心に設置した Foobio 端末でサービス開始。その後順次、他の駅や CD 販売店等を中心に Foobio 端末の設置を行い、初年度は大阪市を中心に 100 台程度設置していく予定。

また、阪急梅田駅を利用されているユーザーを対象に、PDA を無償で貸与する 800 名程度のモニター会員を募集する。募集は 2002

年 6 月 24 日から 2002 年 7 月 29 日まで Web サイト上で行われ、モニター期間は 2002 年 8 月 1 日から 2003 年 1 月 11 日までとなっている。

(6/18)

米 RioPort、Audioamp 社と提携

米 RioPort は、Audioamp 社と戦略的提携をし、Rioport の音楽配信サービス PulseOne Media Service の一機能である Direct-to-Device (d2d) 技術を Audioamp の Active A/V プラットフォームに統合すると発表した。

Audioamp はインターネットとデジタルメディアに対応した次世代オーディオ機器に関する技術開発企業。既存のオーディオメーカーなど向けにインフラとソフトウェアとサービスのソリューション、Active A/V プラットフォームを提供している。

今回の提携により、各オーディオメーカーは両社の技術とサービスを利用することで、PC を介さずにネット経由で音楽を購入し保存し再生できるデジタルホームステレオをデザインすることができるとしている。

(6/18)

米 RioPort、配信サービスで携帯電話をサポート

米 RioPort は、同社の音楽配信サービス PulseOne Media Service (POMS) で携帯電話をサポートすると発表した。

このサービスは ASP として携帯電話事業者に提供され、その携帯電話サービスを利用するユーザーはデジタルミュージックを携帯電話にダウンロードできる。

今回の携帯電話のサポートは、Nokia や Samsung/Sprint など 2 年に渡り開発してきたもの。第 3 世代携帯電話だけでなく現行世代の携帯電話もサポートする。また、WAP だけでなく既存の Web サービスでも利用できる。

RioPort では、携帯機器向けに直接音楽配信を行う Direct-to-Device (d2d) 技術と柔軟

性のあるシステムより多彩なサービスを提供できるとしている。

(6/18)

東芝、PC カード型 HDD を使ったオーディオプレーヤー発表

東芝は、約 1,000 曲のオーディオデータを、5GB の PC カード型ハードディスクに保存して、どこでもモバイルで楽しむことができる Windows 対応のデジタルオーディオプレーヤー「GIGABEAT (ギガビート)」を発表した。

対応コーデックは MP3、WMA、WAVE。記録メディアには着脱可能な PC カード型のハードディスク「モバイルディスク 5GB」が付属、本体から取り外してパソコンの PC カードスロットに直接挿入して、データの交換をすることも可能となっている。

インターフェースは USB2.0/1.1 を採用。付属のアプリケーションソフト「TOSHIBA Audio Application」を使用して、パソコンに保存されている CD1 枚分のオーディオデータを約 30 秒で転送できる。オーディオデータは暗号化してモバイルディスクへ記録される。

また、オーディオデータ以外のデータも収録可能で、外付けの USB ハードディスクドライブとして使用することができる。

プレーヤー本体の表示部にはブルーバックライト付 LCD (160x120 ドット) を採用し、暗い場所でも曲名などははっきりと見ることができる。また、明るい場所でも表示を見やすくするために、ホログラフィックシート (赤色) を採用している。表示言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の 5 ヶ国語から選択できる。

電源には独自開発のアドバンスリチウムイオン充電電池を採用。小型、軽量ながらも約 18 時間の連続再生が可能。付属の AC アダプターを使用して、約 3 時間半で充電が完了する。

大きさは 72.5x22.3x12mm、重さは 180g (本体のみ)。ボディ素材にはアルミ合金を採用。ワイヤードリモコンも付属する。

発売は2002年6月22日より。価格はオープン。

(6/17)

トリブネット・ジャパン、決済サービスの終了を告知

トリブネット・ジャパンは、各加盟店に対し、2002年8月末を持って決済サービスの終了を告知した。

理由について、告知の中では売上の低迷を挙げており、今後はサービスの提供ではなく、WiSPシステムの販売を進めていくとしている。

トリブネット・ジャパンはユーザーが購入した物品、サービスの代金をユーザーが利用しているISP(プロバイダー)からの月額請求書に載せて請求するサービス「WiSP」を提供しており、デジタルコンテンツ販売事業者を中心に展開していた。

(6/15)

松下、Net MD 対応のポータブル MD を発表

松下電器産業は、スピーカーを同梱し、10キー搭載クレードルを付属したNet MD対応ポータブルMDレコーダー「SJ-MR250」を発表した。

ジャストシステム製デジタルオーディオソフト「BeatJam」が付属し、USBケーブルで接続することにより、パソコン上の音楽データを高速転送することができる。また、著作権保護技術「OpenMG」を採用し、音楽配信サイトからダウンロードした曲も、MDに高速転送が可能となっている。

パソコンとのUSBケーブルでの接続は、本体を置くだけで簡単に充電が可能となっているマルチクレードル経由で行う。さらに、クレードルにはタイトル入力などが手軽に行える文字入力10キーを採用し操作性の向上を図っている。

プレーヤー本体とリモコンの液晶表示は、ひらがな・カタカナをはじめ、漢字の表示にも対応。パソコン上で入力したものはもちろ

ん、「BeatJam」を使ってWeb上のCD情報データベースサービスCDDBから入手した邦楽のアーティスト名・曲名もオリジナルのまま表示することが可能となっている。

付属の小型セパレートスピーカーは、新開発のチタンコーン・ネオジマグネットを採用。室内でも高音質で音楽を楽しむことができる。

大きさは78.2x71.6x17.9mm、重さは124g(充電電池含む)。連続再生時間は内蔵充電電池のみで最大約40時間、外付けアルカリ乾電池との併用で同約110時間となっている。

色はシルバーとブルー。発売は2002年7月20日より。価格はオープン。

(6/14)

米 Liquid Audio、Alliance Entertainment社と合併

米Liquid Audioは、Alliance Entertainment社と合併することで合意したと発表した。

買収は株式交換方式で行なわれ、Liquid Audioが新たに発行する普通株約4,620万株と、Alliance Entertainmentの発行済みストックオプションとワラントの全てと交換する。これにより、新会社の保有率はAllianceが約67%、Liquid Audioが約33%となる。

Alliance Entertainment社は、音楽CDやDVD、ビデオ、ゲームなどホームエンターテインメントのコンテンツパッケージ製品を全米5,000社の小売店に供給しているディストリビューター。

新会社はLiquid Audioの音楽配信システムと併せて、リアルとバーチャル双方でのホームエンターテインメントコンテンツの流通網を提供するとしている。

(6/14)

アッカ、10Mbps ADSL サービスへのアップグレードを発表

アッカ・ネットワークスは、2002年7月中旬より、現在提供している最大速度8Mbps

のADSLサービスを下り最大速度10Mbpsへ無償で性能を向上させるためのファームウェアの提供を開始すると発表した。

これは「S=1/2(エス・イコール・ニブンノイチ)」実装の新ファームウェアをNTT収容局内ACCA設備および宅内側モデムともにバージョンアップをすることにより提供が可能になるもの。

この技術は、ITU-T G.992.1(旧称G.dmt)に基づいた「S=1/2」による下り速度の拡張オプションを利用し、デジタル処理プロセスを工夫することにより達成されたもの。ユーザーは現在ACCAが提供している8Mbps対応レンタルモデム(富士通製ADSLモデム)を交換することなく、新ファームウェアをACCAホームページよりダウンロードしバージョンアップするだけで10Mbps対応となる。

NTT収容局内アッカ設備の10Mbps対応は、7月中旬より東京23区内のサービスエリアからNTT収容局ごとに順次実施し、9月末までに全ての提供エリア(534NTT収容局)での作業を完了する予定。

アッカでは引き続き、今秋にはエコーキャンセラ技術(仮称C.x(シー・ドット・エックス))で伝送限界距離の長距離化および全体的なリンク速度の高速化を実現するとしており、これにより、「下り最大速度約12Mbps、最大伝送距離約7Km(線路長)かつ約500kbps速度上乗せを実現できる新サービス」を提供する予定。

(6/14)

STMicroelectronics、Bluetooth搭載のヘッドセット型MP3プレーヤーを公開

STMicroelectronicsは、ジュネーブで行われているBluetooth Congressにおいて、MP3のリアルタイムストリーミング再生が可能なBluetooth搭載ワイヤレスヘッドセットを公開した。

このヘッドセットは、Bluetooth搭載のPDAからMP3をストリーミングで受信し、デコード、再生を行う。また、Bluetooth搭載のGSM携帯電話のヘッドセットとして使

うこともできる。

ヘッドセットには STMicroelectronics の IC と、Ericsson と Widcomm のソフトウェアが搭載されている。Bluetooth 部分は Rainbow STw5288 と BlueSilk STw2410 で構成され、その他に STA015 MP3 デコーダー、STw5094 ステレオコーデックを搭載する。

STMicroelectronics では MP3Pro、AAC、SBC にも対応させる予定としている。

(6/13)

NTT 西日本、ホットスポットサービスを発表

NTT 西日本は、「B フレッツ」「フレッツ・ADSL」「フレッツ・ISDN」のユーザーを対象に、駅周辺やホテル、飲食店等の外出先のスポットから高速・定額料金でインターネット等へアクセスできる無線 LAN サービス「フレッツ・スポット」を提供することとし、総務大臣に料金の届出を行ったと発表した。

フレッツ・スポットは、IEEE 802.11b に準拠した最大 11Mbps の無線 LAN を外出先の該当エリアから利用できるベストエフォート型サービス。ユーザーは契約している ISP 経由で PPPoE を利用して接続する。

サービスは IEEE802.11b 標準のセキュリティ機能を使った標準プランと、よりセキュリティを高めた IEEE802.1x の機能（電子証明書利用による認証とダイナミック暗号キー配信）を使った高セキュリティプランが用意される。高セキュリティプランは当面 Windows XP のみのサポートとなる。

料金はいずれのプランも月額 800 円の定額制。初期工事費として基本工事費が 1,000 円と交換機等工事費 1,000 円（高セキュリティプランは 2,000 円）が必要となる。

サービス開始は 2002 年 7 月 1 日から。サービス提供エリアは大阪市内の梅田・難波エリアを中心に約 30 スポット。サービス開始後、状況を見ながら名古屋・福岡等の都市部へ展開を検討するなど、順次エリア・スポット数を拡大し、今年度内に 2,000 スポット程度まで拡大提供する予定としている。

事前申し込みは 2002 年 6 月 24 日よりホームページと電話で受け付け開始される。

(6/13)

NEC、ポータブル機器向け MPEG2 エンコーダ/デコーダ LSI を開発

NEC (NEC エレクトロニクス) は、デジタルビデオカメラ (DVC) やノートパソコンなどの携帯機器向けに、小型・低消費電力化を実現した MPEG2 AV コーデック (圧縮伸長) LSI 2 品種「 μ PD61151/52」を開発し、サンプル出荷を開始したと発表した。

新製品は 0.13 μ m プロセスの採用により、MPEG2 の AV 信号圧縮 (エンコード) 時の消費電力として世界最小の 330mW (TYP) を実現 (内部電圧 1.5V、周辺電圧 3.3V、低電力 2.5V SDRAM 使用時) し、携帯機器の動作時間の延長を可能としている。

また、MP3 や Windows Media Audio、AAC、ドルビーデジタル (μ PD61152 のみ) といった各種オーディオ圧縮伸長規格に対応する。

新製品の価格は 1,800 円/個 (1 万個受注時)、量産は 2002 年 9 月より開始の予定。

(6/12)

日立、松下から SD カードホストインタフェース IP をライセンス

日立製作所 半導体グループは、松下電器産業が開発した SD カードの著作権保護技術である CPRM 機能を内蔵した SD カードホストインタフェースの IP のライセンス供与を受け、SD カード対応製品向けのシステム LSI の量産を 2003 年 3 月から開始すると発表した。

SD カード応用製品の対象となるのは、携帯電話向けアプリケーションプロセッサ SH-Mobile。

SH-Mobile は、2.5G/3G 次世代携帯電話のアプリケーションプロセッサとして、音声や動画などのマルチメディア・アプリケーションを専用に処理する多機能プロセッサ。CPU コアとして「SH3-DSP」を内蔵すると

ともに、各種マルチメディア・アプリケーションを実現するために必要な周辺機能やインターフェース、内蔵メモリを搭載している。

日立では、SD カード応用製品に使用される SD カードホストインタフェース内蔵システム LSI に求められる市場の要求として、「SD カードとの相互接続性の確保」と「デジタルオーディオシステムで必須となる著作権保護の確実性」を挙げており、SD カードの応用機器で実績を持つ松下と SD ホストインタフェース制御回路技術を共通化することによって、市場の要求に添えていくとしている。

また、2003 年 3 月から量産開始する SH-Mobile に加え、SuperH ファミリー、H8S シリーズにおいても、SD カードに対応した携帯電話、カーナビゲーション、デジタルスチルカメラ、パソコン周辺機器等の応用製品向けに幅広いソリューションを提供していくとしている。

(6/11)

パステムセゾン、無料ホットスポットサービスを全国展開

パステムセゾンは、無料の無線 LAN インターネットサービス、いわゆるホットスポットサービス『hot-point (ホットポイント)』の提供を開始すると発表した。

hot-point のインフラは、汎用規格である IEEE802.11b (無線 LAN) に独自のセキュリティ技術を使用、最大 11Mbps (ベストエフォート) の通信速度でインターネットに接続することができる。

ホットポイント対応アクセスポイントの製造及び技術支援に関しては、ビー・ユー・ジーによる全面的な協力を受け、ホットポイントのバックボーン回線については、ADSL、光ファイバを利用する。

ホットポイント対応店舗を利用するユーザーは、無料でインターネット端末を持ち込むことができ、インターネット接続を利用することができる。

一方、ホットポイントサービス提供に必要な機材の導入は店舗側の負担で導入する。料

金は、スタンダードプランで初期費用が99,800円、月額利用料金はDIONのADSL回線を利用し6,942円からとなっている。

サービス提供は札幌・秋葉原、渋谷、麹町から開始、全国37000局のホットポイント提供施設網の構築を目標としている。

(6/10)

有線ブロード、5月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業（FTTHブロードバンドインターネットサービス）について、2002年5月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Webでサービスの申込みを行なった登録数が77,839件、工事日が確定している契約者数が18,985件、回線が開通している取り付け数が10,052件となり、取り付け数がひと月で1,500件弱の伸びを見せ、初めて1万件の大台を越えた。

そのほかの数字を4月末時点のものとは比べると、登録数が約1,500件、契約者数が約2,000件の増加となっており、契約数の伸びが減り、少しだけ契約者数との差が少なくなっている。

なお、5月には展開エリアが72から74に増えている。

(6/10)

5月末のDSL加入者数は300万突破

総務省から2002年5月末時点のDSL加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は3,028,556でこれは前月末の12.2%増。増加率は前月から1.3%減。

内訳を見るとNTT東西のフレッツADSLでの加入者が1,275,587、他事業者経由のDSL加入者が残りの1,752,969で、NTT東西のフレッツADSLのシェアは42.1%と前月比0.4%のプラス。

(6/7)

NTTコム、金沢でSOMAの無線接続実験

NTTコミュニケーションズは、簡易で利便性の高い無線によるブロードバンド接続の可能性を検討するため、広域無線ブロードバンド接続方式の実証実験「WINQプロジェクト」を、2002年9月初旬をめどに開始すると発表した。

すでに総務省より石川県金沢市およびその周辺市町村において、実験無線局開局の準備に必要な予備免許を取得したことを受け、実験無線局の開局準備および実験無線局免許取得に向けた申請手続きを進めている。

この実験に用いられる無線システムは、米SOMA NetworksがW-CDMA技術を採用し開発した広域無線ブロードバンド通信システム。2.6GHz帯を利用し、最大5.12Mbps（下り）/319kbps（上り）を実現する。

無線端末装置「SOMApert」はアンテナ内蔵、設置工事不要であるほか、市販の携帯電話を接続することができ、一般加入電話・携帯電話との間の通信も含め、同時に2回線までの音声通話を利用することができる。

また、カバーするエリア範囲も広く、机上計算では、半径約4km圏内で1Mbps超（下り）を実現の見込みとしている。

実験期間は実験局の開局から約1年間（2002年9月初旬～2003年8月末）を予定。実験エリアは石川県金沢市およびその周辺市町村。

実験モニターは2002年7月上旬（予定）より、インターネット上で募集を開始。約100台の無線端末装置「SOMApert」を貸し出す予定。

NTTコムでは、この実証実験を通じ簡易で利便性の高い、無線によるブロードバンド接続技術の性能や使い勝手の評価を行い、今後の展開について検討していくとしている。

(6/7)

オーディオチップメーカー8社、WMAサポートを発表

米Microsoftは、東京国際フォーラムで開催されている「STREAMING MEDIA JAPAN 2002」において、オーディオチップメーカー8社が、各社のオーディオチップ製品上でMicrosoft Windows Mediaをサポートするためのライセンスを取得したことを発表した。

今回Windows Mediaのサポートを発表したチップメーカーは以下の通り。

・MCS Logic Inc：CDプレーヤー用のチップセット「MLC3300/MLC3310」でWMAをサポート

・MediaTek：DVDプレーヤー用の複合チップ「MT1369」でWMAをサポート

・NEC：DSPチップ「SPX」用のデコーダーミドルウェア、およびカーステレオ用チップ「uPD61002」でWMAをサポート

・沖電気工業：チップセット「ML67Q5200-NLA」でWMAをサポート。2003年春提供開始予定

・三洋電機：デコーダーチップ「LC82323」でWMA/MP3に対応

・SigmaTel：「STMP3410」でWMAをサポート

・Sunplus：デジタルオーディオデコーダー「SPCA755」シリーズでWMAをサポート。2002年第3四半期提供開始予定

・東芝：「TC94A20F」でWMAをサポート。2002年9月提供開始予定。「TC94A02F」「TC9486F」「TC9486AF」「TC94A34F」等のチップにおいてもWMAをサポート予定

2001年発表のCirrus Logic Inc.、ESS Technology Inc.、LSI Logic Corp.、STMicroelectronics、Zoran Corpに今回発表の8社が加わったことで、Windows Mediaをサポートする消費者向けデバイスの出荷数は、2002年の後半までに総計2700万台に達

すると予測している。

(6/6)

エイベックス、有料音楽配信サービスを WMT に対応

エイベックスおよびマイクロソフトは、2000年4月よりサービス中のエイベックスの有料音楽配信サイト「@MUSIC」にて Windows Media Technologies に対応した有料音楽配信サービスを2002年7月1日(月)から開始するにあたり、協力していくことで合意したと発表した。

サービス名称は「@MUSIC for WMA」。新譜シングル楽曲を中心に約100曲でスタート、以後、リリースされるシングル楽曲を発売日の正午から配信する。また2002年8月ごろをめどに既存のサービスで配信されている残りの楽曲(約400曲)もラインナップに加え、さらに2002年末までに旧譜を拡充することで配信楽曲数を約5,000曲に増やしていく予定。価格は1曲200円(税別)。

またこのサービスでは、少額課金の決済方式として ISP 決済を採用しており、BIGLOBE、ODN、@nifty との提携により、購入の際に必要な個人認証や課金を ISP 経由で行えるため、購入するたびにクレジットカード番号などを入力する手間や抵抗感がなくなっている。提携 ISP は今後も追加され、2002年9月以降に Panasonic hi-ho、同10月以降に DTI が加わる予定。

その他、決済方式としてはクレジットカードと、BitCash の少額決済が利用できる。

さらに、SDMI 準拠の WMA フォーマット対応のプレーヤーで配信楽曲が再生可能とされており、具体的にはアイ・オー・データ機器、ソニックブルー、三洋電機がメーカー名としてあげられている。

エイベックスでは、NetMD などに対応した「@MUSIC for Label Gate (ATRAC3)」と合わせて、音楽配信サービスの利用をより一層促進していくとしている。

(6/6)

日本テレコム、JR 東日本との無線 LAN 接続実験の対応プロバイダを追加

東日本旅客鉄道(JR 東日本)と日本テレコムは、2001年9月より首都圏の各駅において実施している「無線による、駅でのインターネット接続実験」の接続可能プロバイダをさらに追加すると発表した。

具体的には、ReSET.JP が2002年6月5日(水)17:00より、OCN が2002年6月10日(月)よりモニター募集および利用開始、BIGLOBE が2002年6月下旬よりモニター募集開始、同7月初旬より利用開始予定となっている。

「無線による、駅でのインターネット接続実験」の実験エリアは東京、新宿、渋谷、上野、品川、横浜、成田空港、空港第2ビルの各駅構内、および札幌駅周辺の各実験エリア。

接続可能プロバイダはこれまで、ODN、JENS SpinNet、Panasonic hi-ho、@nifty が対応済み。また、DTI(ドリーム・トレイン・インターネット)も対応予定となっている。

両社では、今後とも、2002年7月31日(水)までの実験期間中、駅での無線高速インターネット接続実証実験の拡充に努めていくとしている。

(6/5)

ケンウッド、Net MD 対応のラジ MD を発表

ケンウッドは、薄型 MD/CD システムの第二弾モデルとして、ラジ MD で業界初となる「Net MD」を搭載した薄型ラジ MD システム「RAMPAGE MDX-J9」を発表した。

MDX-J9 は「Net MD」を搭載し、USB ケーブルを用いてパソコンと MDX-J9 を接続、付属のアプリケーションソフト「ミュージア」を活用することで、パソコン内の音楽ファイル(OpenMG ファイル)を簡単かつ高速に MD に転送することができる。

記録されたディスクは既存の MD 機器で再生が可能(MDLP モードでチェックアウトされた楽曲は、MDLP 対応機器でのみ再生可能)。

ケンウッド・オリジナルのパソコン用アプリケーションソフト「Mulia: ミュリア」は、パソコン内の音楽ファイルの管理・編集や WAV、MP3 ファイルを著作権保護された「OpenMG」形式へ変換することが可能。

また、インターネットで CDB2 にアクセスし、音楽 CD のタイトル情報の取得することもできる。さらに、圧縮データを高音質に再生する「Supreme2: サプリム 2」を搭載し、パソコン上で音楽ファイルを再生する際も高音質な音楽再生が可能となっている。

本体奥行き 51mm の超薄型ボディは、デスクトップやベッドサイドはもちろん、壁に掛けるなど自由なセッティングが可能。乾電池(アルカリ単三電池×6本)での動作にも対応し、スピーカーは折りたたみ可能となっており、アウトドアへの持ち出しも簡単になっている。

エリア別放送局名自動設定&表示対応 FM チューナー、AM チューナーを搭載し、カード型リモコンが付属する。

発売は2002年7月上旬より。価格はオープン。

(6/5)

スピードネット、加入数が 10,000 件を突破

スピードネットは、同社の「無線アクセスサービス」の加入件数が 10,000 件を突破したと発表した。

スピードネットの「無線アクセスサービス」は、電柱に張り巡らされている光ファイバー網をバックボーンとし、IEEE802.11 準拠、2.4GHz 帯の無線 LAN 技術を採用し、データ実効速度 1.5Mbps(最高)を実現する。

2001年5月にさいたま市からサービスを開始、2002年2月の第5期エリア拡大による首都圏 23 市区へのサービスインから営業・プロモーション活動を本格的にスタート。その結果、インフラ完成の2月以降から加入件数が急激に加速増大し、加入総数が 10,000 件を超え、現在も週に 1,000 件を超える申し込みがあるという。

スピードネットでは、このようなサービス

提供エリアにくまなく基地局を設置する「面的な展開」を広範囲において実現し、かつ無線アクセスサービスの加入件数が 10,000 件を超える事業者は世界でも最大規模としており、今後 5GHz 帯域を利用した無線アクセスサービスの開発も実用化に向けて本格的に開始するとしている。

(6/4)

総務省、4 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2002 年 4 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 153.3 万人、DSL が 2,699,285 人、FTTH が 34,930 人となっている。

DSL の加入者が前月から 32 万以上増やしブロードバンドの牽引役になっているが、CATV インターネットも 8 万弱の増加となり増加数に伸びが見られる。FTTH も数字は少ないものの前月から 8,500 以上増え、増加率は高い。

(6/4)

クリエイティブ、NOMAD JUKEBOX3 のファームウェアをアップグレード

クリエイティブメディアは、Creative NOMAD JUKEBOX 3 に対応したファームウェアと File Manager のアップデートファイルを公開した。

新しいファームウェアのバージョンは 1.10.06。日本語での検索速度を向上している。ファイルサイズは 928KB。

Creative File Manager のアップデートファイルは Version 1.00.14-JPN にするもの。特に変更点などは明らかにされていない。ファイルサイズは 3.52MB。

(6/4)

日立、ソニーからマジックゲートのライセンスを供与

日立製作所 半導体グループは、ソニーが開発したメモリスティックの著作権保護技術 MagicGate の IP ライセンスを受け、MagicGate 対応のシステム LSI の量産を 2003 年 3 月から開始すると発表した。

MagicGate 対応の対象となるのは、携帯電話向けアプリケーションプロセッサ SH-Mobile。

SH-Mobile は、2.5G/3G 次世代携帯電話のアプリケーションプロセッサとして、音声や動画などのマルチメディア・アプリケーションを専用に処理する多機能プロセッサ。CPU コアとして「SH3-DSP」を内蔵するとともに、各種マルチメディア・アプリケーションを実現するために必要な周辺機能やインターフェース、内蔵メモリを搭載している。

日立では、今回の MagicGate 技術の IP ライセンス供与により、2003 年 3 月から量産開始する SH-Mobile に加え、SuperH ファミリ、H8S シリーズにおいても MagicGate 対応製品向けに幅広いソリューションを提供していくとしている。

(6/3)

ソニー、メモリスティックの新規格を発表

ソニーは、東京で開催されたメモリスティックフォーラムの中で、「メモリスティック Duo」の発売と、新ラインナップ「メモリスティック-R (仮称)」を発表した。

小型機器向けに開発された「メモリスティック Duo」は、国内市場において 2002 年 7 月より発売される。

メモリスティック Duo は、標準のメモリスティックに対して、約 1/3 の小型化、約 1/2 の軽量化を実現している。また、「メモリスティック Duo」アダプターを用いることで、標準のメモリスティックと全く同等に扱うことが可能となり、世界中に普及している様々なメモリスティック対応機器で利用することができる。

当初 16MB 製品より発売を開始し、順次ラインナップの拡張を図っていくとしている。

「メモリスティック-R」は、一度だけ書き込みが可能（読み出しは何度でも可能）なライトワンス (Write Once) 型のメモリスティック。記録再生型に比べ低コスト化を実現することにより、メモリスティックを用いたライブラリー作成やコンテンツビジネスなどへの応用が期待されるとしている。具体的な商品化は未定となっている。

なお、2002 年 3 月にはメモリスティックの全世界出荷累計が 2000 万枚を達成、対応製品も 2000 万台以上になったこと、マジックゲートを搭載したメモリスティックが 2001 年度のメモリスティック販売総数の約 20% を占めるようになったことなども併せて発表された。

(6/3)

ソーテック、メモリスティックの積極採用を発表

ソーテックは、ソーテック製品にメモリスティックを積極的に採用し、これからの PC ライフには欠かせない、IT 機器とのネットワーク化を推進していくと発表した。

メモリスティック採用 PC の第一弾として、AV 機能を充実させた新スリムタワーシリーズ「PC STATION A」シリーズと、パワーユーザーに好評の G シリーズのフルモデルチェンジである「PC STATION GX」シリーズを、新製品として発表した。

なお、いずれの PC もマジックゲートメモリスティックには対応していない。

今後は全てのデスクトップ PC・ノート PC への搭載を手掛けていく予定としている。

(6/3)

EMD Magazine 第 22 号

発行 2002 年 7 月 1 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース